

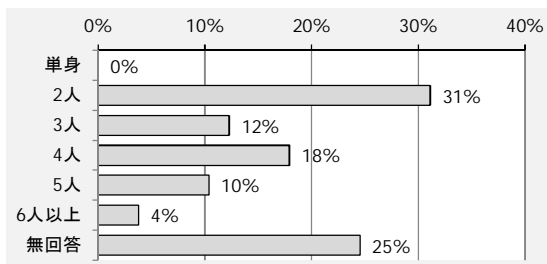
# 1. 村民アンケート結果（概要）

（1）一般村民 対象：816 世帯／回答：106 件

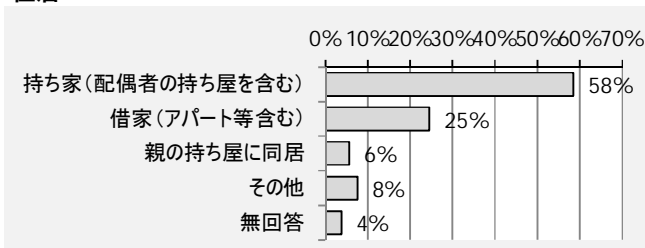
## 1) 回答者自身について

- ・回答者の性別は「男性」が74%で過半を占めている。世帯主宛に発送したため年齢は「60～69歳」が24%、「70～79歳」が21%と、50歳以上が72%を占める。
- ・居住地は「平良」が26%で、他の地区は全て20%未満となっている。人口比からすると慶佐次の回答率が低い。
- ・家族人数は、「2人」が31%、「4人」が18%で、平均では3.3人、最大は7人で、構成は、子どもいる世帯は47世帯で44%である。
- ・現在の住まいは自分または親の「持ち屋」が64%、「借家」が25%となっている。
- ・東村での居住年数は「5年未満」が16%、「60年以上」が15%で、その他も満遍なく存在しており、古くから集落に多くの転居者が入り込んでいる状況にあることが伺える。
- ・職業は「無職」が26%、「農業」が23%、「パート・アルバイト等」が13%で、経済的に不安定な状況にあることが伺える。
- ・職場は「東村内」が72%、名護市」が13%を占める。

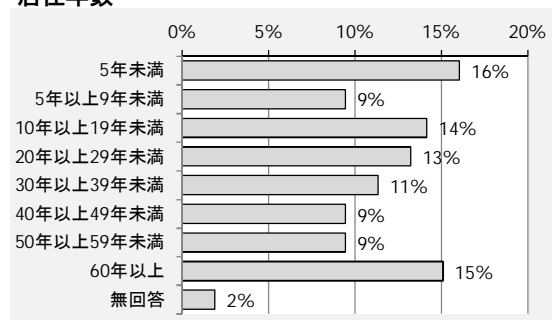
### 家族構成



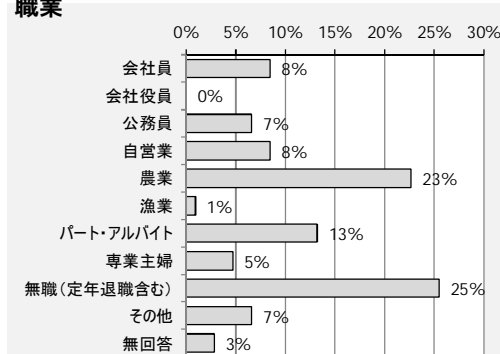
### 住居



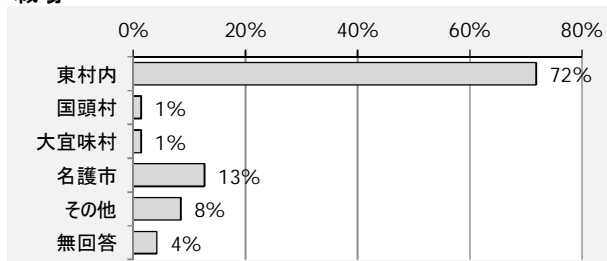
### 居住年数



### 職業



### 職場



## 2) 暮らしやすさについて

- ・東村の住みやすさについて、「住みやすい」=5点～「住みにくい」=1点として評価を行った結果、合計平均が3.97点と多くの人が住みやすいと感じている状況とあることが伺える。
- ・今後の居住意思について、「これからも住み続けたい」=4点～「移転したい」=1点として評価を行った結果、3.62点と多くの方が住み続けたいと思っている状況にあることが分かる。

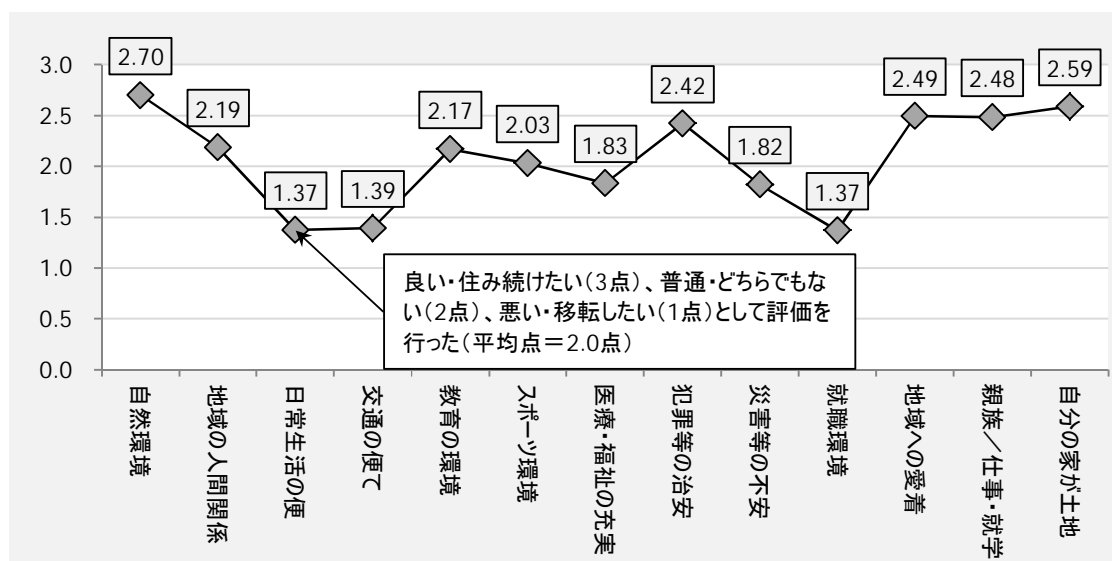
東村は住みやすいか？

	件数	割合
住みやすい	32	30.2%
どちらかと言えば住みやすい	47	44.3%
どちらとも言えない	13	12.3%
どちらかと言えば住みにくい	8	7.5%
住みにくい	2	1.9%
無回答	4	3.8%
全体	106	100%

これからも住み続けたいか？

	件数	割合
これからも住み続けたい	62	58.5%
できれば住み続けたい	22	20.8%
できれば移転したい	3	2.8%
移転したい	2	1.9%
分からない	14	13.2%
無回答	3	2.8%
全体	106	100%

そう思う理由としての生活環境等の評価

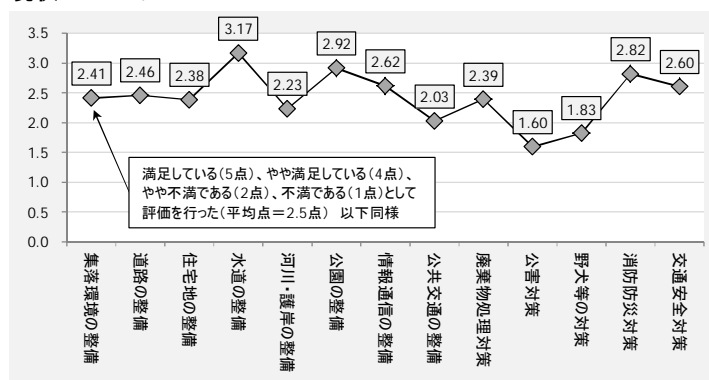


### 3) 村づくり施策について

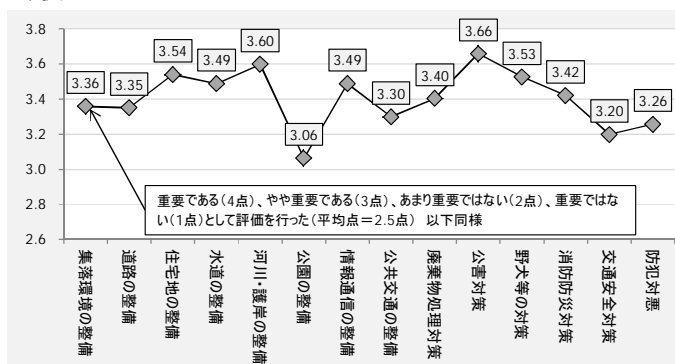
#### <生活環境について>

- ・現状では、「水道の整備」「公園の整備」「消防防災対策」はある程度満足してはいるものの、多くの項目が平均点を下回っている。特に、「公害対策」「野犬、野良猫、有害鳥獣類対策」に関しては抜本的な対策を講じる必要があることが伺える。
- ・今後の重要性については、全ての項目が平均点の2.5点より0.5ポイント以上高く、特に現状における満足度の低い「公害対策」、およびダムを多く抱える本村の特徴として「河川・護岸の整備」が重要と感じている状況が伺える。

現状について



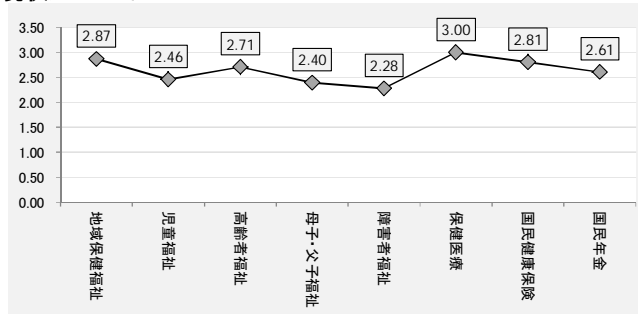
今後について



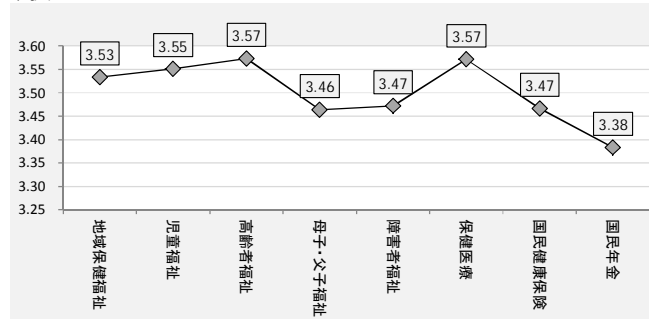
#### <福祉について>

- ・現状では、「保健医療・医療費助成」は平均点を0.5ポイント上回っており、ある程度満足しているものと思われるが、他の項目は平均点を僅かに上回るか、「障害者福祉」「母子・父子福祉」「児童福祉」は平均点を下回っており、何らかの改善が望まれている状況にあることが伺える。
- ・一方、今後については全ての項目を0.8ポイント以上となっており、施策の充実強化が求められている。

現状について



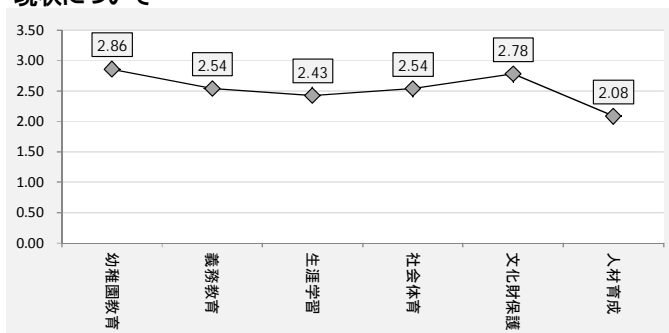
今後について



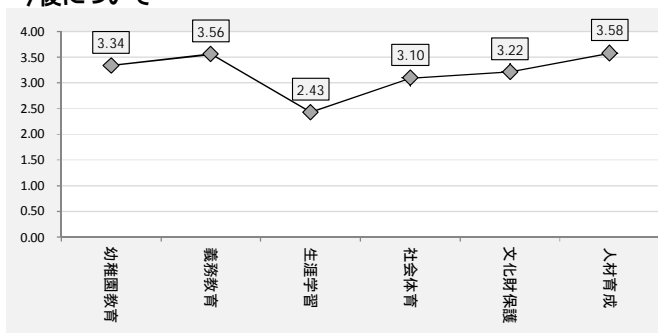
<教育・文化について>

- ・現状では、総じて現状の満足度は低く、特に「人材育成」に関しては平均点を割り込んでおり、満足していない状況が伺える。
- ・一方、今後については「生涯学習の振興」を除き、施策の充実強化を求めている。「生涯学習の振興」は満足度、重要度とも低くなっており、今後地域との懇談会等を通じ、その要因を探る必要があると考える。

現状について



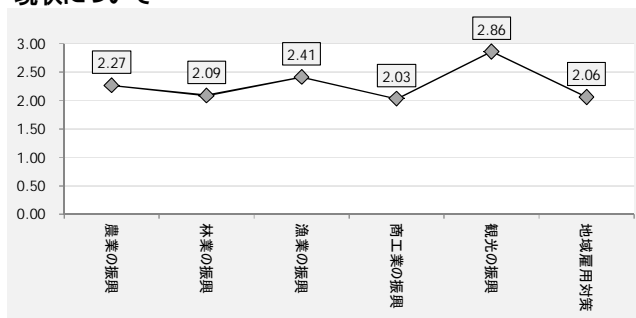
今後について



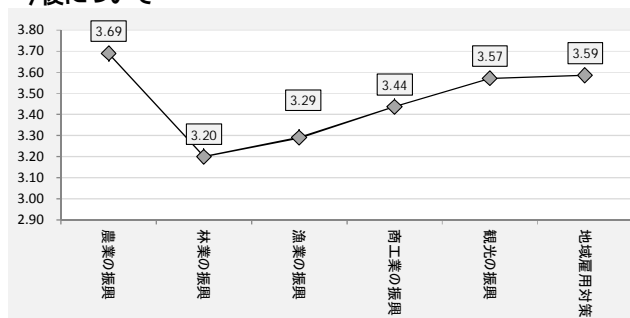
<産業について>

- ・現状では、「観光の振興」のみが決して満足度は高くはないが、平均点を超えているのみで、他の項目は全て何らかの改善を望んでいる状況にあることが伺える。
- ・一方、今後については全ての項目において、施策の充実強化を望んでおり、特に「農業の振興」に対する思いが強い。

現状について



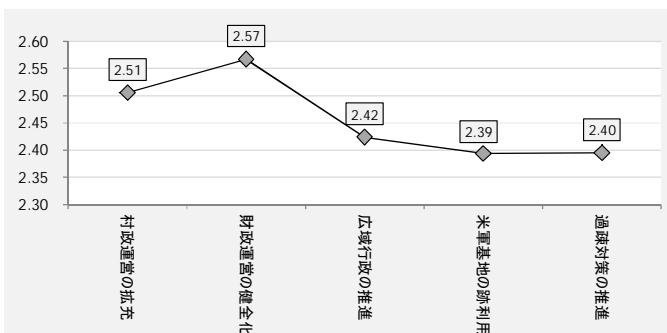
今後について



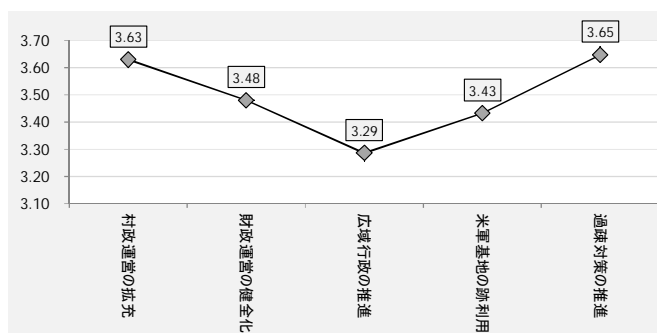
## <村行政について>

- ・現状では、平均点を僅かながら超えているのは「財政運営の健全化」「村政運営の拡充」の2項目で、他は平均点を下回っている。
- ・一方、今後については全ての項目における施策の充実強化が望まれているが、特に「過疎対策の推進」「運勢運営の拡充」に対する思いが強い。

現状について



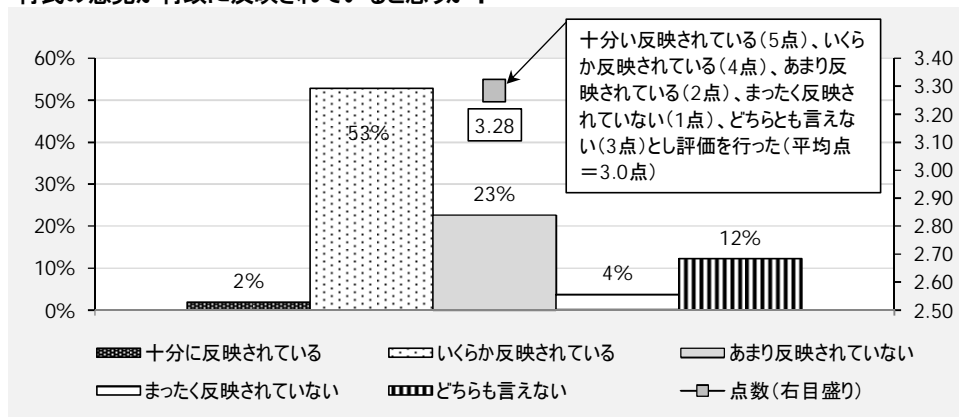
今後について



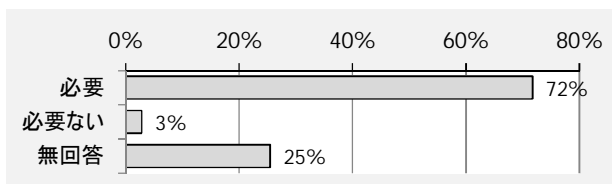
## <むらづくりについて>

- ・村民意見の反映に関して、「十分に反映されている」=5点～「まったく反映されていない」=1点として、評価を行った結果、3.28点と僅かでは平均点を上回り、少しは反映されているという認識が示されている。
- ・村民と行政の協働による村づくりについては、「必要」が72%と過半を占める。
- ・必要な取り組みとしては、「自然環境の保全に関すること」が50%で最も多く、次いで「産業の活性化に関すること」が35%、「子育て支援に関すること」および「自治会・老人会・青年会・婦人会等の活動に関すること」が29%となっている。
- ・むらづくりについて話し合う場への参加については、5割程度（「懇談会、集会があれば参加したい」「積極的に個人で参加したい」「積極的にグループで参加したい」）がその意思を有している。

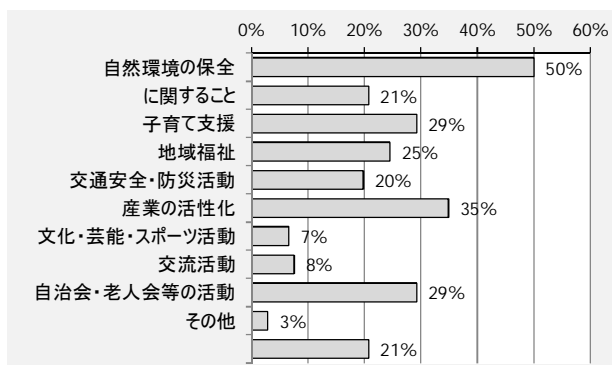
村民の意見が村政に反映されていると思うか？



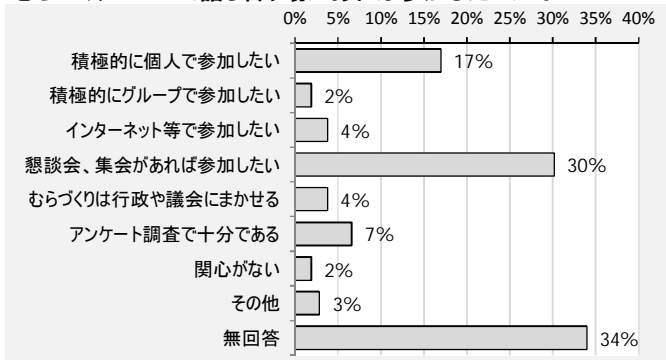
協働による村づくりは必要か？



どのような取り組みが必要と思うか？

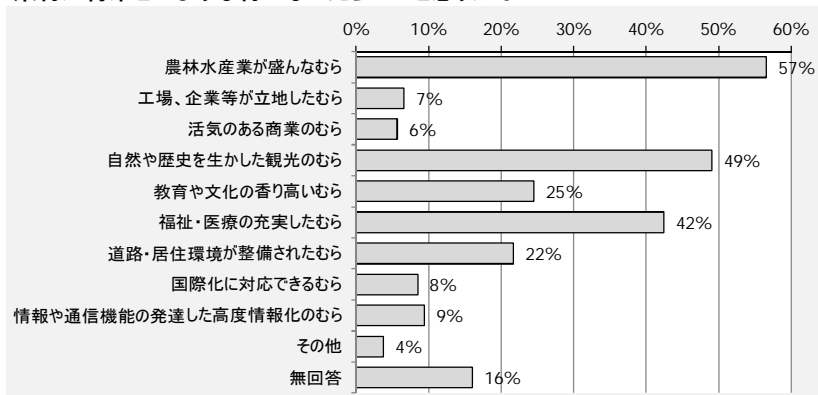


むらづくりについて話し合う場があれば参加したいか？

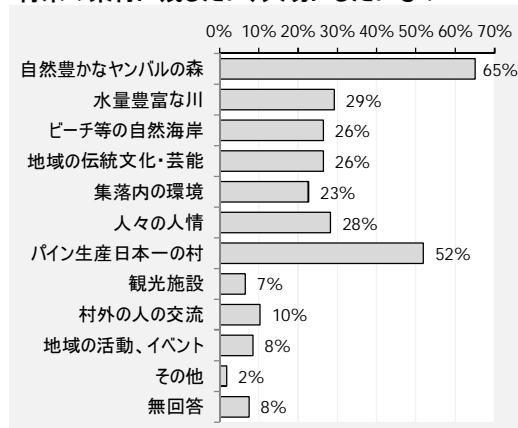


- ・東村が将来どのような村になったらいいと思うかについては、「農林水産業が盛んなむら」が57%で最も多く、次いで「自然や歴史を生かした観光のむら」が49%、「福祉・医療の充実したむら」が42%となっており、本村の自然環境を活かした産業振興、および安心して暮らせる環境を求めていることが伺える。
- ・将来住んでみたい（住み続けたい）と思うむらの将来像を表現する標語（イメージ・キャッチフレーズ）の提案については、47件の回答があり、下表のように分類した。パインをモチーフにした標語が多く見られる。
- ・将来の東村に残したい、大切にしたいものについては、「自然豊かなヤンバルの森」が65%で最も多く、次いで「パイン生産日本一の村」が52%、「水量豊富な川」が29%となっている。また、「ビーチ等の自然海岸」も26%を占めるなど、本村の豊かな自然環境、およびそれを背景としたパイン産業への思い入れが強いことが伺える。

東村が将来どのような村になったらいいと思うか？



将来の東村に残したい、大切にしたいもの



将来住んでみたい(住み続けたい)と思うむらの将来像を表現する標語(イメージ・キャッチフレーズ)の提案

活気・産業 振興	明るい、住みよい村／笑顔であいさつが飛び交う村／日本一のパイン郷！！／農業と観光のバランスで豊かな東村へ ／農業の基盤整備が整ない若い人が夢を持って農業が出来る村／人・村輝く東村
長寿・癒やし	安住の里／癒しと感動の村／カジマヤーでも元気！楽しさいっパイン東村／現在東村ではスーパーおよびコンビニが 1軒もなく、独身者や一人暮らしに生活必需品が名護まで行かなければならない（一人暮らしでも生活できる村）車の 免許がなくても生活できる村／高齢者パラダイス東村／三世代が安心して住める損失最小の東村／弱者に優しい自然 豊かな東村／第2の人生の村（第2の故郷）／大好き東村！みんなで心繋げる癒しの村／助け合い、思いやり、幸せ を多く感じる村／やっぱりここが好き、東村／豊かな自然環境の中で暮らす至上の贅沢を味わう村
人材育成	次世代に光を！ 次世代を育てる村！ 次世代が住みやすい村／将来日本経済および沖縄・東村を育む子供達育成／ 有能な人材を東村に導入する
自然環境	自然・肝心豊かで落ち着いた村／自然と共に（又は海、山、自然と共に）／自然豊か／自然豊かで肝心のむら／自然 豊かで心も豊か未来が見える東村／自然豊かな日本一のパイン村／自然豊かなパイン村／春夏秋冬緑あふるるパイン の里／生活環境が整備された、自然豊かな観光農村／道路整備を行わなくて良い。道路が自然を破壊する。基地のな い村／水／水がうまい！空気もうまい！！パインはもっとうまい！！
心のふれあ い・思いやり	移住者たちの定住地／格差のない東村／協働&プライベート（他人に干渉しない）／住民本意の村づくり
その他	悪臭の無い地域になったほしい／海の物 食する分は自由に／環境の良い村（東村）／ステップアップドリーム／住 みたいおきなわヤンバル東村／太陽の出る 東の村ゆ 更生の光 あまねく時期 よこそ来た 戦前小島技士 よむ ／どこに行こうか、そうだ 東村／未来・安心・安全の村／今の村政ではとても思いつかない／イメージできない

(2) 小中学生 対象：村内の小中学生／回答：56件

1) 回答者自身について [略]

2) 暮らしやすさについて

- ・東村の住みやすさについて、「住みやすい」＝5点～「住みにくい」＝1点として評価を行  
った結果、合計平均が4.11点と多くの児童・生徒が住みやすいと感じている状況とあること  
が伺える。
- ・今後の居住意思について、「これからも住み続けたい」＝4点～「移転したい」＝1点として  
評価を行った結果、2.95点と進学を機に一度は東村を離れざるを得ない状況にあることが分  
かる。

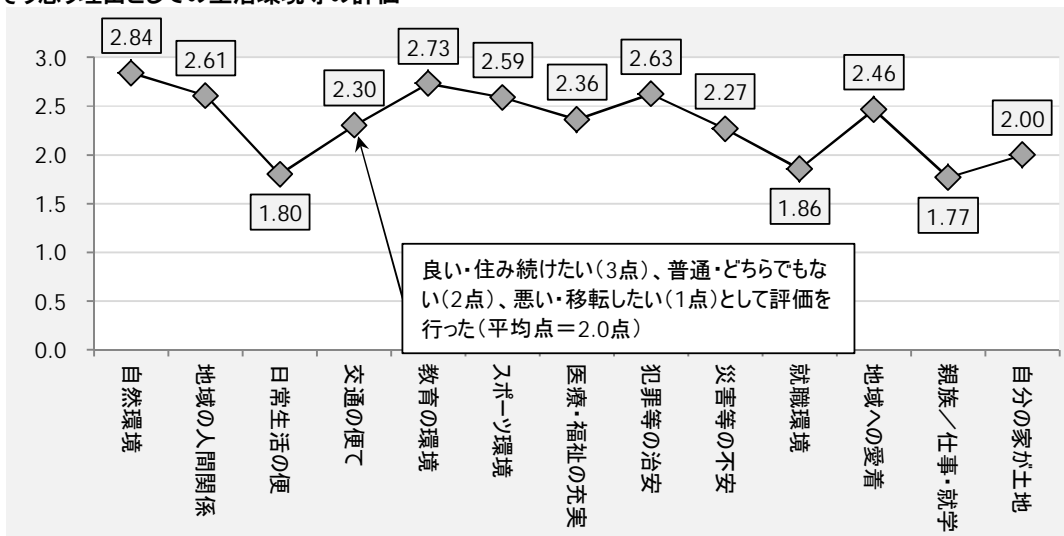
東村は住みやすいか？

	件数	割合
住みやすい	22	39.3%
どちらかと言えば住みやすい	21	37.5%
どちらとも言えない	8	14.3%
どちらかと言えば住みにくい	4	7.1%
住みにくい	0	0.0%
無回答	1	1.8%
全体	56	100%

これからも住み続けたいか？

	件数	割合
これからも住み続けたい	14	25.0%
できれば住み続けたい	17	30.4%
できれば移転したい	10	17.9%
移転したい	3	5.4%
分からない	12	21.4%
無回答	0	0.0%
全体	56	100%

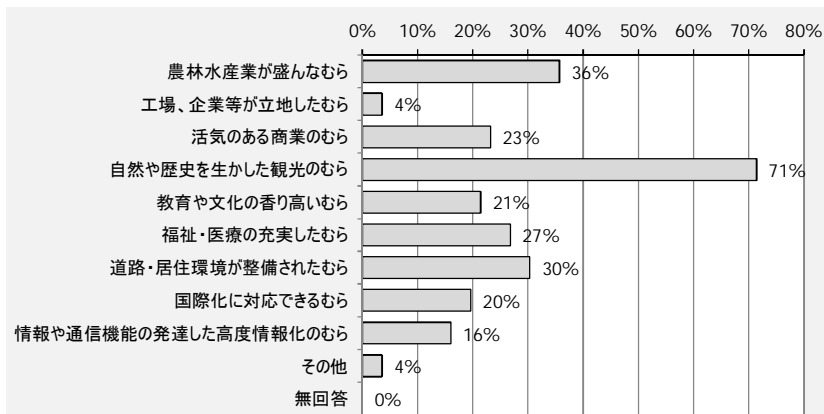
そう思う理由としての生活環境等の評価



### 3) 村づくりについて

- 東村が将来どのような村になったらいいと思うかについては、「自然や歴史を生かした観光のむら」が71.4%で最も多く、次いで「農林水産業が盛んなむら」が36%、「道路・居住環境が整備されたむら」が30%となっており、本村の自然環境を活かした産業振興、および生活の利便性向上を求めていることが伺える。
- 将来住んでみたい（住み続けたい）と思うむらの将来像を表現する標語（イメージ・キャッチフレーズ）の提案については、21件の回答があり、大まかに下表のように分類した。自然環境の豊かさに基づく標語が多く見られる。
- 将来の東村に残したい、大切にしたいものについては、「自然豊かなヤンバルの森」が80%で最も多く、次いで「パイン生産日本一の村」が59%、「ビーチ等の自然海岸」が29%となっている。また、「水量豊富な川」も25%を占めるなど、本村の豊かな自然環境、およびそれを背景としたパイン産業への思い入れが強い。

東村が将来どのような村になったらいいと思うか？

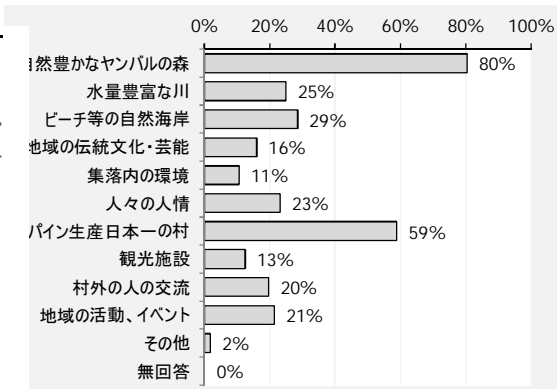




将来住んでみたい(住み続けたい)と思うむらの将来像を表現する標語  
(イメージ・キャッチフレーズ)の提案

活気・産業 振興	コンビニが出来てそう。人もいっぱいそう／楽しい村！ みんなが笑顔になれる東村／みんな仲良く、元気に笑顔あふれる村。子供が多くいる村。自然を大切に、文化も大切に作る村
長寿・癒やし	自然体！ 東村の良さをありのままに／幸せ村
自然環境	海と森と愛の村／自然／自然環境を生かし、便利で住みやすい村／自然と共存の村 自然をもっと大切に、動物たちともキチンと暮らしていける／どこに行っても、ヤンバルクイナ／パインがおいしい。川がきれいな村／ヘリパットの無いヤンバルの豊かな自然がそのまま残っている東村／山、水、パイン、花の村／豊かな自然 パインあふれる東村
心のふれあ い・交流	国際化が進み世界から注目される村／自然に囲まれて地域関係がとても良い村／手をとってみんなで笑顔で楽しいな／東村に住んでいる人みんなが笑顔で安心して暮らせる村／日本と外国との出入口／村民みんなで作る村

将来の東村に残したい、大切にしたいもの



## 2. 総合計画・総合戦略の策定経緯

会議	開催日	検討内容等(総合計画)	検討内容等(総合戦略)
住民アンケート実施	平成27年7月～8月	全世帯、村内中学生へ「暮らしやすさ、村づくり」等についてアンケート	①全世帯 ②未婚・独身の方・子供なし世帯・子育て世帯 ③高校生・専門学生・大学生 ④東村からの転出者
各団体及び各課ヒアリング	8月～9月	各区長、商工会、JA東支店、婦人会、老人会、社協、国頭漁協支部、観光推進協議会、東村ふるさと振興(株)及び役場各課	各区長、商工会、JA東支店、婦人会、老人会、社協、国頭漁協支部、観光推進協議会、東村ふるさと振興(株)及び役場各課
第1回策定委員会	10月9日	・第5次総合計画の概要説明 ・基本構想(案)の検討	・「まち・ひと・しごと地方創生」の概略説明 ・東村の人口ビジョンについて ・東村総合戦略策定の方向性について
	10月15日	・職員向け説明会	・職員向け説明会
第2回策定委員会	11月30日	・基本構想(案)の検討 ・前期基本計画(案)の検討	・東村の人口ビジョン(人口推計)の検討 ・東村の総合戦略、基本目標・基本的方向(案)、戦略の方向性(案)の検討
第1回審議会	12月25日	・委嘱状交付 ・基本構想(案)の検討(現況・課題、将来像、重点プロジェクト、施策の大綱等) ・前期基本計画(案)の検討	・「まち・ひと・しごと地方創生」の概略説明 ・東村の人口ビジョンについて ・東村総合戦略策定の方向性について
	12月25日	・諮問(総合計画)	・東村総合戦略施策展開について
第3回策定委員会	平成28年1月20日	・第2回指摘事項の確認 ・基本構想および前期基本計画(案)の検討	・第1回審議会の指摘事項の対応・確認 ・東村の人口ビジョン(案)、東村の総合戦略(案)の検討
第2回審議会	2月3日	・第1回指摘事項の確認 ・基本構想(案)、前期基本計画(案)の検討	・第1回審議会の指摘事項の確認 ・東村の人口ビジョン(案)の検討 ・東村の総合戦略(案)の検討
第4回策定委員会	2月22日	・第3回指摘事項の確認 ・基本構想および、前期基本計画原案の検討	・第2回審議会の指摘事項の対応・確認 ・東村の人口ビジョン(原案)、東村の総合戦略(原案)の確認
第3回審議会	2月26日	・第2回指摘事項の確認 ・基本構想および、前期基本計画原案の検討	・第2回審議会の指摘事項の確認 ・東村の人口ビジョン(原案)、東村の総合戦略(原案)の確認
	3月4日	・答申(総合計画)	

### 審議会委員

	氏名	所属
委員長	島袋 徳和	商工会長
副委員長	金城 紀昭	副村長
委員	新里 吉弘	区長会(会長)
〃	比嘉 一之	教育長
〃	池原 憲勇	村議会
〃	港川 實登	村議会
〃	小橋川 敏	区長会(副会長)
〃	大嶺 文夫	社会福祉協議会長
〃	玉城 恵利子	婦人会長
〃	比嘉 勝正	老人クラブ連合会長
〃	奥本 淳	農業委員会長
〃	大嶺 優	JAおきなわ東支店長
〃	吉本 淳	NPO法人東村観光推進協議会理事長
〃	林 優子	名桜大学上級准教授
オブザーバー	金城 真由美	子育て世代
〃	知念 伊律子	村立保育所長

### 3. 諮問書



東企観 第 1112 号  
平成 27 年 12 月 25 日

東村総合計画審議会  
会長 島袋徳和 殿

東村長 伊集盛久



#### 第5次東村総合計画について（諮問）

東村総合計画策定にかかる規則（昭和51年規則第1号）第5条に基づき、第5次東村総合計画（基本構想・前期基本計画）について貴審議会の意見を賜りたく諮問いたします。

#### 諮問理由

本村は、昭和51年に東村総合計画基本構想を策定し、これまで現計画期間の第4次計画まで、構想実現のために各種施策・事業を実施してまいりました。

第4次総合計画は平成27年度をもって終了いたします。

近年、本村においては、エコツーリズム等観光分野が新たな産業として活性化する一方で、少子高齢化、過疎化の進行、高齢化による、農林水産業の衰退などの諸問題をかかえており、それらに対応した行政運営が求められます。

今後、行財政改革をより一層推進するとともに、村民が安心・安全で暮らしていける地域づくりと、農林水産業の発展と、村の魅力ある地域資源を最大限に活用して、持続可能な村づくりを取り組んでいくため、平成28年度から10年間の基本構想、5年間の前期基本計画の策定に関して諮問し、意見を求めるものです。

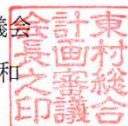
## 4. 答申書



平成28年3月4日

東村長 伊集盛久 殿

東村総合計画審議会  
会長 島袋徳和



### 第5次東村総合計画について（答申）

平成27年12月25日付け企観第1112号にて貴職から諮問のありました第5次東村総合計画（基本構想・前期基本計画）について、当審議会で慎重に審議してまいりました結果、別紙のとおり意見を付して答申いたします。

本計画は東村の将来像と諸施策の大綱が示された行政運営の指針となるものであり、計画の趣旨を広く村民に周知し、村民の理解と協力のもとに施策の推進が図られるよう、次のとおり意見を付して本計画実現に努められるよう要望します。

## 意見書

本計画を実現するため、下記の諸施策の推進に努められたい。

- ・本村の基幹産業である農林水産業の振興を図るために関係団体等と十分に調整し諸施策の実施を図ること。
- ・本村の豊かな自然を活かした観光などによる交流人口の拡大、地域の産業活性化につながる施策を講じること。
- ・少子・高齢化の進行に伴い福祉・子育て支援のさらなる充実に努めること。
- ・将来の東村を担う創造豊かな子どもたちの育成と、村づくりに寄与する人材育成の取組みに努めること。
- ・これまで過疎対策として様々な施策を講じてきたが依然として人口は減少しており、雇用の確保、移住・定住促進など更なる施策を講じること。

以上、今後も厳しい行財政運営が予想されますが、計画内容を確実に推進するための組織体制を整備し、全庁的な連携を密にして組織全体で取り組み、村づくりの将来像の実現に努められたい。



